

第11回

松本市長と車座集会「みんなの尼活皆議」

～ 学びの多様化学校について ～

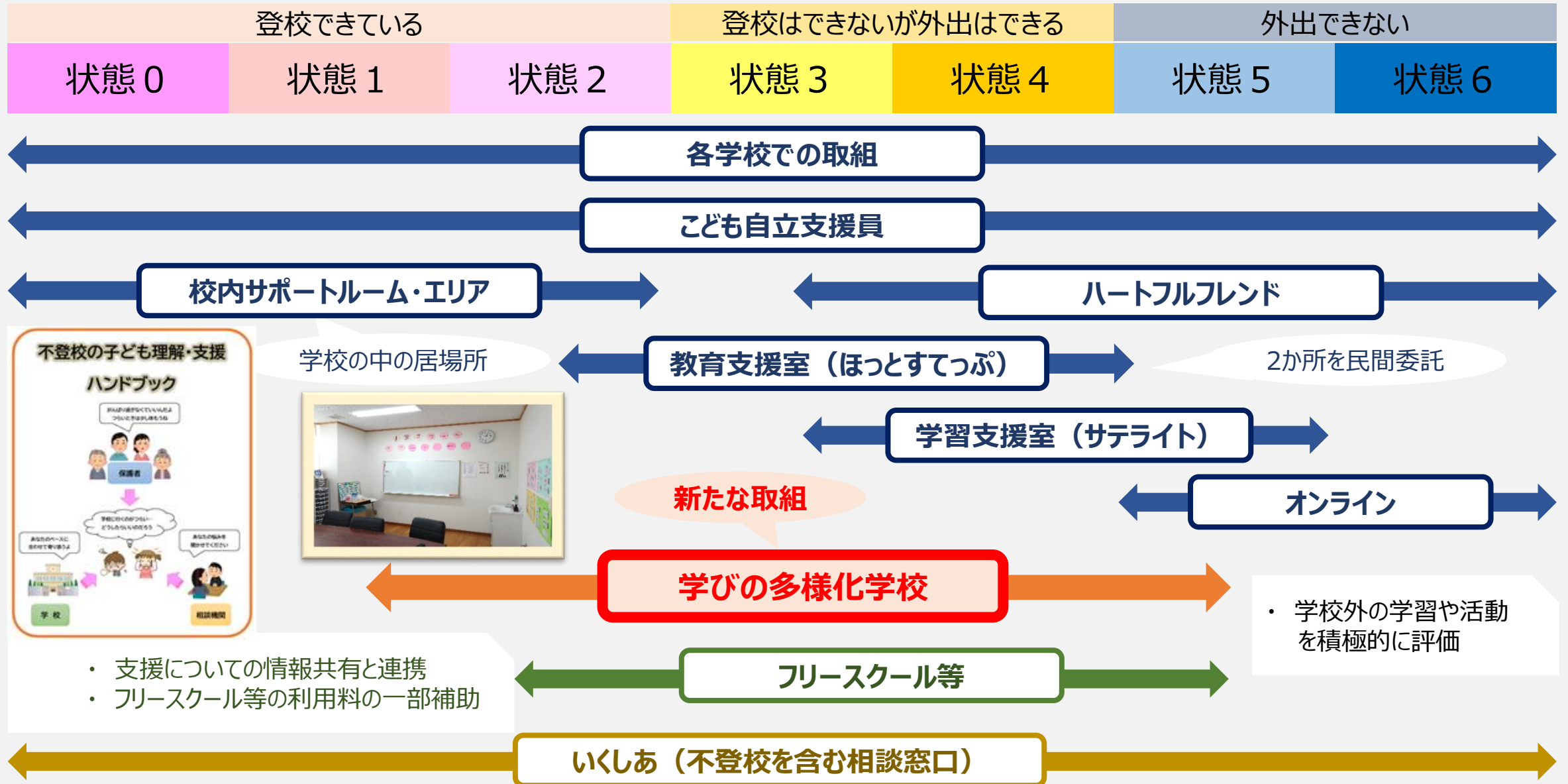
教育委員会事務局 教育総合センター 学びの多様化学校設置準備担当
こども教育支援課

本市の不登校児童生徒数等の推移

小学校	年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	出現率
	H30	6	14	27	28	44	65	184	0.86
	R1	13	16	29	48	55	72	233	1.10
	R2	11	24	36	60	66	78	275	1.31
	R3	24	28	38	65	87	109	351	1.71
	R4	40	46	82	97	120	138	523	2.58
	R5	39	54	71	105	130	145	544	2.71

中学校	年度	中1	中2	中3	計	出現率
	H30	119	194	177	490	5.19
	R1	140	160	215	515	5.52
	R2	157	195	180	532	5.62
	R3	191	256	229	676	7.02
	R4					

本市のグラデーションのある不登校対策・支援等



「学びの多様化学校」の特徴

授業時数を削減することができる

授業時間を短縮することができる

指導内容を異学年に移行することができる

ゆとりある教育活動や特色ある教育が可能である
(新教科、探求の時間の設定など)

削減した学習内容について、学校教育法又は学習指導要領に
示す主旨やねらい・目的を達成するために、工夫が必要である

標準の授業時数
年間1,015時間
※中学校の場合

標準の授業時間
1コマ50分
※中学校の場合

不登校児童生徒の実態により
学校として削減・短縮可能



**学びの多様化学校ごとの
ゆとりと特色ある教育課程へ**

本市の「学びの多様化学校」設置基本方針①

尼崎市がめざす学びの多様化学校のイメージ（有識者会議意見）

ポジティブな
イメージがもてる
学校

こどもが主体的に学び、こ
どもたちの「できた」を追
求できるような学校

個々の教育ニーズ
に可能な限り対応
できる学校

こどもにとっても
おとなにとっても
居心地のよい学校

従来の学校がもつ
イメージを覆す
学校らしくない場所

こどもたちひとり一
人が所属感をもち、
こどもと一緒につく
り育てる学校

人とつながり、地域や
社会とつながり
未来につながっている
学校

多様な学びを推進す
るためのフラッグ
シップとなる学校



本市の「学びの多様化学校」設置基本方針②

学びの多様化学校の基本理念

こどもセンターの視点に立ち、地域や社会、そして未来とのつながりのなか、
一人ひとりが最大限のウェルビーイング^(※)の向上を実現できる場所

学校づくりの5つの視点

- ① 尼崎市全体の学びの多様化を推進するための**フラッグシップ校**をめざす。
- ② こどもにもおとなにもそれぞれの**安心・安全な居場所づくり**をめざす。
- ③ こども一人ひとりへの**教育的ニーズ**に対応できる。
- ④ **多様な職種の職員による支援**を行う。
- ⑤ こどもの**「意思決定」を尊重**し、個々に応じた**ライフデザインを描けるこどもを育てる**。



※「ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。」
(『教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)』より抜粋)

尼崎市立中学校

開校：令和8年4月予定

成良中学校琴城分校（※旧校舎）跡地に建てる平屋施設
と成良中学校琴城分校（※現校舎）の教室を併用



「学びの多様化学校」の先行事例①

◆ 岐阜市立草潤中学校 ◆

岐阜市立草潤中学校学校案内より



草潤中	国語	社会	数学	理科	保健体育	セルフデザイン	外国語	ウォームアップ クールダウン	総合	合計
全学年 共通	105	70	105	70	105	70	105	70	70	770

授業時間数が少なく、Online 学習でも可能なんだね！

一般校	国語	社会	数学	理科	保健体育	音楽	美術	技術家庭	外国語	道徳	特別活動	朝の会帰りの会	総合	合計
1年	140	105	140	105	105	45	45	70	140	35	35	授業時間外	50	1015
2年	140	105	105	140	105	35	35	70	140	35				

「学びの多様化学校」の先行事例②

◆大阪市立心和中学校◆



大阪市立心和中学校昼間部生徒転入案内より

年間総授業時数	各教科の授業時数									道徳の授業時数	特別の教科 総合的な学習の 時間	授業時数 特別活動の	総授業時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語				
1年	105 (140)	70 (105)	105 (140)	70 (105)	20 (45)	20 (45)	70 (105)	30 (70)	105 (140)	0 (35)	140 (50)	35 (35)	770 (1015)
2年	105 (140)	70 (105)	105 (105)	105 (140)	20 (35)	20 (35)	70						

「学びの多様化学校」の教育課程のイメージ（例）

標準の授業時数と先行事例

	中 1			中 2			中 3		
	標準	草潤	心和	標準	草潤	心和	標準	草潤	心和
国語	140	105	105	140	105	105	105	105	105
社会	105	70	70	105	70	70	140	70	105
数学	140	105	105	105	105	105	140	105	105
理科	105	70	70	140	70	105	140	70	105
音楽	45	—	20	35	—	20	35	—	23
美術	45	—	20	35	—	20	35	—	23
保体	105	105	70	105	105	70	105	105	35
技家	70	—	30	70	—	30	35	—	24
外語	140	105	105						

【参考】本市の「学びの多様化学校」の教育課程編成の方向性

【心理的安全性】セキュアベース

教育相談、メンター機能を生かし、こども一人ひとりが心の居場所をもてる。心を育む教育の推進。

【自主性】セルフマネジメント

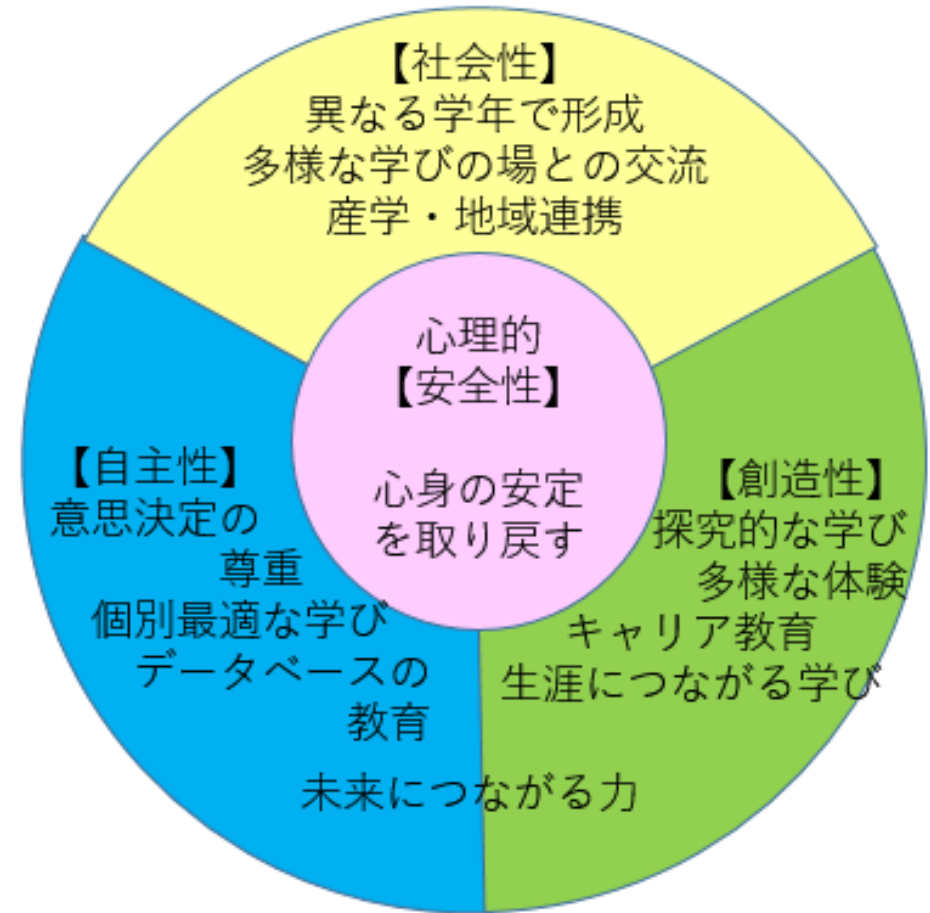
学びの「場」「方法」「内容」を選択できる等、こども自らが『学びの設計』を行う自主・自律的な学習を推進。

【創造性】ライフデザイン

興味・関心を出発点とし、学習者自らが決めたテーマや課題をもとに自由な探究活動の展開。未来の社会の創り手となる力を育成。キャリア教育の推進。

【社会性】ソーシャルスキル

様々な人々との交流を通じて社会性や協調性を育成。異学年で形成されるコミュニティをベースとした学びの展開。



【参考】「学びの多様化学校」の全国的な動向

「学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)」の設置状況(R6)

学校数(35校)

【うち、公立学校21校、私立学校14校】

文部科学省
ホームページより



今後の設置予定

※ 現時点で公表可能な都市・都道府県のみ記載

【R7年度中に開設予定】小中学校19校、高等学校4校、義務教育学校1校